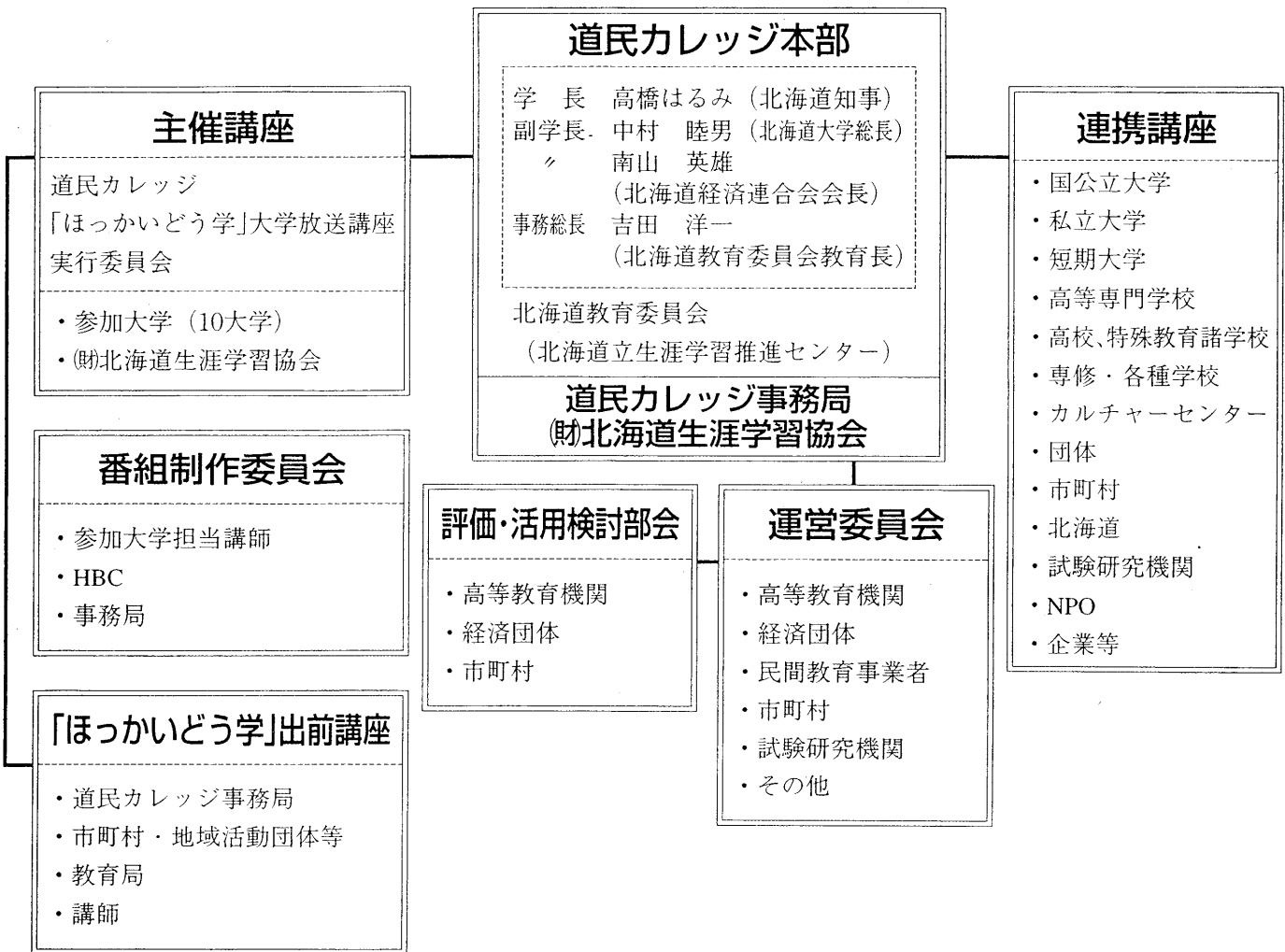
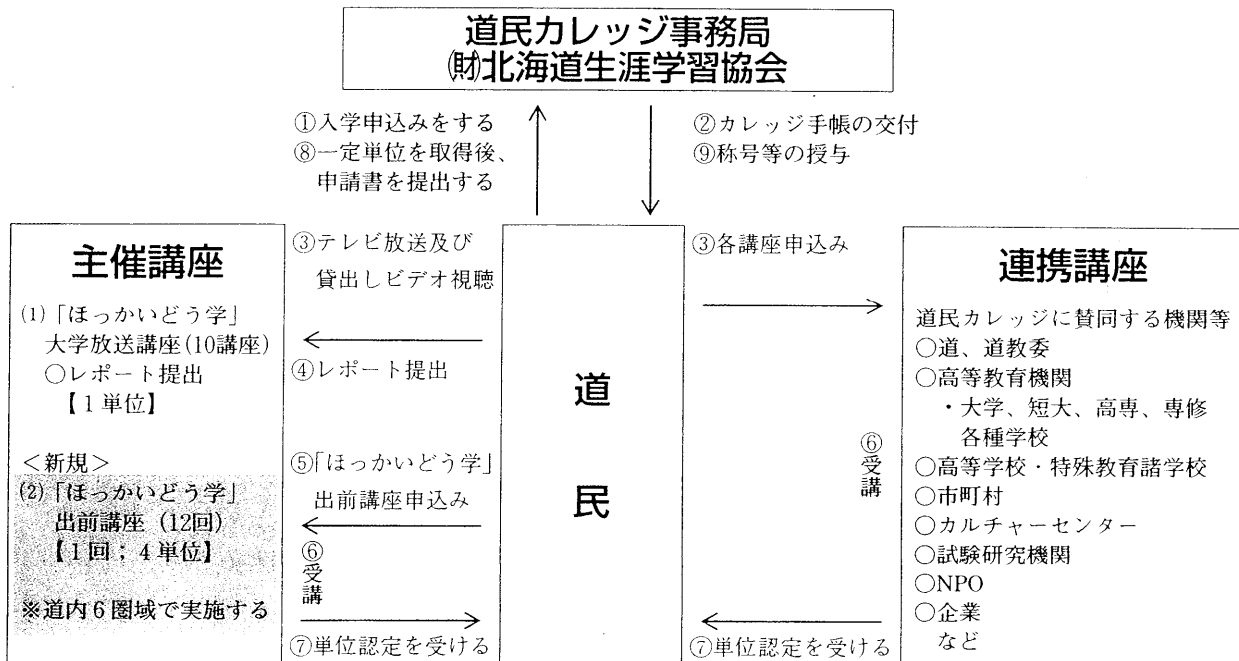


組織について



入学、受講のシステムについて

ガイドブック等に添付してあります入学申込書を、返信用切手(140円)を同封の上、道民カレッジ事務局へ郵送(持参の時は切手不要)してください。入学者には、「道民カレッジ」手帳を無料でお渡しします。入学後、ガイドブックや道民カレッジホームページを参考に受講したい講座を選び、申込みをしてください。



学習方法について

主催講座

◇「道民カレッジ」が主催する講座です。

(1) 「ほっかいどう学」大学放送講座

■「大学放送講座」テキストを参考に、30分のテレビ放送を視聴し、レポートを道民カレッジ事務局に提出します。

○テレビ放送終了後、かでの2・7・9階「情報交流広場」で大学放送講座のビデオ視聴を行います。また市町村教育委員会及び高等学校を対象に「ビデオ」の貸出しを実施します。1月～9月の期間ですのでご活用ください。

(2) 「ほっかいどう学」出前講座

■希望市町村や団体の要望に基づき、まちづくりの実践的な知識・ノウハウを持った講師を地域に派遣し、地域課題の解決にむけた参加型学習プログラムによる地域づくり実践講座です。各実施市町村や団体等へ申し込み、講座に参加します。

連携講座

◇「道民カレッジ」に賛同する大学・短大等の高等教育機関の公開講座、専修各種学校の講座、市町村の講演会・講座、研究機関や民間教育事業者・各種団体等の講座・研修会で、ガイドブック（前期・後期）や道民カレッジホームページの中から、自分で学びたい講座を選び、実施機関・団体等に申し込みをして受講します。

自分が学びたい講座を選び、自ら学習計画を組み立てながら主体的に学ぶことができます。

主催講座

■「ほっかいどう学」大学放送講座

・道内の大学講師によるテレビ放送での講座です。北海道について現在を見つめ、過去を知り、未来のあり方を考える大学放送講座で、HBCテレビで放映します。

【18年度参加大学】

- ◇旭川大学
- ◇札幌大学
- ◇東京農業大学
- ◇北海学園大学
- ◇北海道医療大学
- ◇北海道教育大学
- ◇北海道情報大学
- ◇北海道大学
- ◇北海道東海大学
- ◇北海道武蔵女子短期大学

(五十音順)

■「ほっかいどう学」出前講座

・実施希望の市町村の要望に基づき、学習者の参加を図りながら、その企画・実施を市町村と北海道が協働で取組む地域づくりの実践講座です。(道内6圏域で実施)

連携講座

■道民カレッジ連携講座

・道民カレッジに賛同する大学・短大等の公開講座、専修各種学校の講座、市町村の講演会・講座、研究機関等の講座、民間教育事業者・団体等の講座やセミナー等があります。

【講座内容のコース】

- ①「ほっかいどう学」コース
・北海道の歴史や民族、地域学等の講座
- ②「能力開発」コース
・技能・資格等の専門性を高める講座
- ③「環境生活」コース
・社会生活の向上を目指す講座
- ④「健康・スポーツ」コース
・健康・体力づくり等を目指す講座
- ⑤「教育」コース
・豊かな人生をおくるための基礎講座

※ほっかいどう学とは

・道民自身が北海道（あるいは道内のそれぞれの地域）について、7つの学習領域を基本に、現在を見つめ、過去を知り、未来のあり方を考える協働の学びです。

・道民としてのアイデンティティを確立し、主体的に学ぶことによって培われた知識と能力を生かして北海道づくり、地域づくりに参加する学習です。

〈学習領域〉

- (1) 北海道の総合的施策にかかわるもの
- (2) 北海道の文化と歴史に関わるもの
- (3) 北海道の自然・環境に関わるもの
- (4) 北海道の産業に関わるもの
- (5) 北海道の生活に関わるもの
- (6) 北海道の芸術、スポーツに関わるもの
- (7) 北海道の地域づくりの方法に関わるもの

学習単位について

単位の認定について

■主催講座

(1)「ほっかいどう学」大学放送講座

◇大学放送講座テキストを参考に30分のテレビ番組を視聴し、レポートを提出すると、1講座につき1単位を認定します。

(2)「ほっかいどう学」出前講座

◇道内各地で開催される出前講座を最後まで参加した場合は、1講座について4単位を認定します。

■連携講座

◇道民カレッジに賛同する各機関が開催する講座に申込み、受講すると、1時間1単位を基本に認定します。連続講座においては、講座を主催する機関の認定基準を優先しますが、それ以外は講座の7割以上出席された方に対し、単位を認定します。

◇連携先の市民カレッジや市民大学等の公開講座と単位互換をする場合は、道民カレッジの単位（1時間1単位）に置き換えることができます。

称号の取得について

■所定の単位を取得した場合、道民カレッジ事務局に申請すると「称号」を授与します。

○100単位を取得した場合……『道民カレッジ学士』（～コース）

○200単位を取得した場合……『道民カレッジ修士』（～コース）

○300単位を取得した場合……『道民カレッジ博士』（～コース）

※『学長奨励賞』……コースに限らず、総取得単位数が1000単位となった場合に、賞状を授与します。

単位の取得方法について

(1)必修単位

◇称号を申請する場合に必ず取得しなければならない単位です。主催講座の「大学放送講座」視聴とテキスト添付のレポート提出（1レポート1単位）や「ほっかいどう学出前講座」の受講（1講座4単位）の中から、6単位以上を取得してください。

なお、テレビ視聴が不可能な方のために、テキスト購読によるレポート提出や市町村に貸し出すビデオ視聴によるレポート提出でも単位（1レポート1単位）となります。

(2)専門コース単位

◇5つのコースに分類されている連携講座の中から、自分が学びたいコース（専門コース）を1つ選択し、そのコースの中から取得する単位です。60単位以上を取得してください。

(3)選択コース単位

◇連携講座・主催講座を含め、自分が学びたい講座を自由に選択し受講して取得した単位です。称号取得を目指し34単位以上を取得してください。

■単位取得の方法パターン

主催講座（大学放送講座・出前講座の中から）		必修6単位				6単位	合計100単位	
連携講座	専門コース（5コースの中から1コースを選択）					60単位		60単位
	ほっかいどう学 コース 60単位	能力開発 コース 60単位	環境生活 コース 60単位	健康・スポーツ コース 60単位	教養 コース 60単位			
	選択コース（主催・連携講座の中から自由に選択）					34単位		

(注1) 「道民カレッジ学士」の称号を申請する場合は、上記の必修6単位、専門コース60単位、選択コース34単位（専門コースを含む）の合計100単位の取得が必要です。

(注2) 「道民カレッジ修士」の称号を申請する場合は、申請するコースの「道民カレッジ学士」の取得が必要です。修士の取得は、同一コースの学士を取得していることが条件です。

(注3) 「道民カレッジ博士」の称号を申請する場合は、申請するコースの「道民カレッジ修士」の取得が必要です。博士の取得は、同一コースの修士を取得していることが条件です。

(注4) 必修単位で6単位以上、専門コースで60単位以上取得した超過単位は、選択コース単位及び他の称号申請の時の単位として使用できます。

道央

ご当地検定「おたる案内人」合格発表 31人合格、受検者数は7割減 (09/26 14:08)

小樽観光大学校(校長・山田勝麿市長)主催のご当地検定「おたる案内人」の第二回検定の結果が二十五日発表され、一級と二級合わせて三十一人が合格した。受検者数は四十七人で、百四十三人が受検した前回の三割にとどまった。

小樽観光の底上げを目指し、十六日に試験を行った。全百問で、主に観光産業で働く人向けの一級(正答数七十以上)に十二人、一般向けの二級(同六十以上)には十九人が合格。合格率は69・7%で、前回より26・8ポイント下がった。

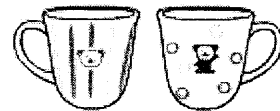
受検者の内訳は市内が三十四人、市外が十三人。東京や浜松から受検した人もいた。合格者の年齢は二十一〜七十四歳。

ほかに、前回検定で七十問以上正答した二級合格者のうち、二十一人が一級講座を受講して一級の認定を受けた。

受検者、合格率とも前回は大きく下回った理由について、事務局の小樽商工会議所は「第一回と違い、PR不足だった」とみて浸透を図っていく。また、一級は事前講座の受講が必須のため、受講困難な市外在住者や障害者向けに、DVDの制作も検討している。

第三回検定は二〇〇八年三月二日、小樽商大で。十二月三日受け付け開始。受検料三千円。事前講座は一級が一万五千元(五回)、二級が五千元(一回、高校生以下二千五百円)。問い合わせは商工会議所(電)0134・22・1177へ。

さらに!



07/08/28

07:49

KL027

時事通信



閉じる

◎なごや学マイスター制度を創設＝名古屋市

名古屋について学び、学習の成果を生かすことのできる人材の育成を目指そうと、名古屋市は「なごや学マイスター制度」を創設した。市生涯学習センターで実施する「なごや」の歴史・文化・自然に関する講座を受講し、受講後に学習や活動を継続する市民をマイスターとして認定する。

2007年度は9月から10月にかけて2講座を開催し、受講生には講座修了時に1ポイントを付与。その後、定例学習会の実施など「学習活動」には1ポイント、森の手入れなど「実践活動」には2ポイント、「講師活動」には5ポイントなどと実績に応じてポイントを付ける。

5ポイント集まると「マイスター」、20ポイントで「シルバーマイスター」、100ポイントで「ゴールドマイスター」に認定され、それぞれ認定証とバッジが贈呈される。

07年度は、中区の中生涯学習センターで、市が復元事業を進める名古屋城本丸御殿に関する講座を、ものづくりの歴史が長い西区の西生涯学習センターで、「ものづくり文化の道」と銘打った講座を開く。(了) (2007年8月28日/官庁速報)

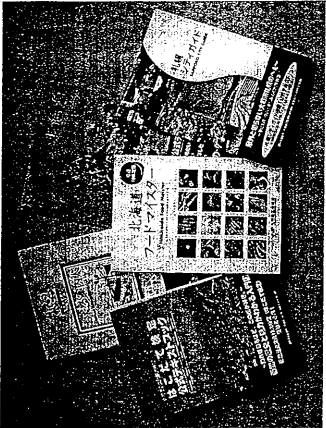
＝ 閉じる ＝

Copyright(c) 1996-2007 JIJI PRESS,LTD. All rights reserved.

頑張れ！ 北海道の「ご当地検定」



ご当地検定がブームだ。日本全国で検定が実施され、ゲームにも登場するほど関心が高まっている。北海道でも平成16年開始の「札幌シティガイド検定」を皮切りに、今年3月までで計6つのご当地検定が実施され、その数はさらに増えていく予定だ。本稿では、それらご当地検定を紹介するとともに、北海道観光活性化への寄与の可能性を検証していく。



▲ご当地検定の資料として用いられるのは、平成16年開始の「札幌シティガイド検定」。「ご当地検定」が観光活性化に貢献する人財を育成するための取組は、おもに「ご当地検定」による。

ご当地検定の目的は「生涯学習」と「人材育成」

ご当地検定は、地域の歴史・文化・観光・自然・産業などについての知識を、幅広い対象に身に付けてもらう「生涯学習」の機会提供と、身に付けた知識を観光客へのおもてなしやまちづくり、自分の仕事などに活用する「人材育成」という二つの目的を持っている。

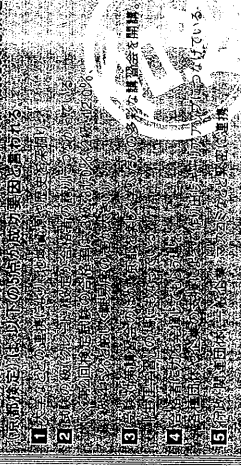
本稿は、北海道観光活性化に対するご当地検定の寄与がメインテーマなので、主に後者の「人材育成」に焦点を絞るが、ご当地検定が「資格取得」「就職や転職に有利」という単純なものではないことは前提として述べておきたい。実際、ご当地検定受験者たちのニーズは多様であり、その幅広さに応えようとするのが、これからご当地検定を育てていくと考える。

「場の創出」と「活用意識」がご当地検定の価値を高める

「人材育成」という目的に着手し、北海道のご当地検定を見た時、合格者を対象とした合同会社説明会を実施するなど、キャリア支援まで行っている「北海道フードマイスター検定」と、道民のホスピタリティ向上が主目的で「仕事にすること（業）」を前提としない「北海道観光マスター検定」という対照的な検定がある（詳細は18ページ、19ページ）。

ただ、いずれの検定も、観光活性化に寄与する「人材育成」のためには、講習会の開催や上級試験の設定といった継続的なスキルアップを促す「場の創出」と、主催者はもちろん受験者・合格者も主体的に知識・資格の活用方法を考える「活用意識」が必要となるはずだ。

「京都検定」に見るご当地検定の成功要因



札幌シティガイド検定

●**検定の目的**
札幌の歴史や文化、自然環境、観光名所などを学び、観光客や子供たちに札幌の魅力を伝える役割を担う人材を育成。

▲公式テキスト 定価1800円（税別）

【検定期間】平成16年
【試験概要】 ●試験時間:90分
●出題数:50問
●合格点:70点以上

【出題範囲】札幌の歴史・自然・政治・経済・生活文化・観光関連施設・札幌周辺の地域の特色、ガイドの基礎知識

【級の設定】上級試験の設定は検討中

【認定実績回数】6回

【認定者数・合格率】1865名・56.1%

★検定に合格すると、合格証を発行するほか、携帯用認定カードを配布。さらにフォロワーアプリやセミナーや見学会などに参加ができる。

北海道フードマイスター検定

●**検定の目的**
北海道で収穫・生産される食材の知識を身に付け、広く深く、食文化の発展に貢献する人材を育成。

▲公式テキスト 定価1000円（税別）

【検定期間】平成17年
【試験概要】 ●試験時間:120分
●出題数:50問
●合格点:70点以上

【出題範囲】北海道の食料生産事情、北海道の食材、食品の成分と栄養

【級の設定】平成19年度に上級試験を実施する予定

【認定実績回数】4回

【認定者数・合格率】3087名・54.3%

★検定に合格すると、合格証と携帯用の認定カードを発行。希望者は求人情報の提供、イベント開催の協力、開業のアドバイスを行う。※資格の有効期限は5年

北海道観光マスター検定

●**検定の目的**
北海道全体に関する幅広い知識をもち、北海道及び各地域を訪れる人へ、温かいおもてなしの心を発揮する人材を育成。

▲公式テキスト 定価2000円（税別）

【検定期間】平成18年
【試験概要】 ●試験時間:90分
●出題数:50問
●合格点:70点以上

【出題範囲】北海道の基礎情報、観光地・歴史・祭り・自然・交通網と交通機関、国際観光基礎、北海道遺産、シニックスパイウェイ北海道など

【級の設定】上級試験の設定は検討中

【認定実績回数】1回

【認定者数・合格率】1288名・84.0%

★検定に合格すると、合格証（証書・携帯用）を発行。今後、徹底的な宣伝・合格者への観光情報の提供を行うなどの予定がある。

おたる案内人検定

●**検定の目的**
訪れる観光客に、小樽の持つ「真の魅力」に惚れ込んでもらうため、産・学・官が連携し、小樽観光の本質を捉えた人材育成を目指す。

▲公式テキスト 定価1000円（税別）

【検定期間】平成19年
【試験概要】 ●試験時間:90分
●出題数:100問
●合格点:70点以上、2級:60点以上

【出題範囲】小樽観光と歴史、自然・経済・生活文化・観光施設、周辺、おもてなしほか

【級の設定】1級:主に観光産業従事者を対象、2級:一般市民を対象 ※上級コースを検討中

【認定実績回数】1回

【認定者数・合格率】1級:58名・93.1%
2級:95名・98.8%

★検定に合格すると、合格証を発行。取得者が在籍する企業には認定カード（有料）を発行する。

十勝の観光文化検定（七かち検定）

●**検定の目的**
十勝地域全体のホスピタリティの向上とともに、生涯学習や子供の教育、地域の歴史・文化の伝承などにも寄与。

▲公式テキスト 定価2000円（税別）

【検定期間】平成19年3月4日
【試験概要】 ●試験時間:90分
●出題数:50問
●合格点:70点以上

【出題範囲】十勝の自然・歴史・産業・経済・生活・文化・スポーツ、食文化、十勝の各種ツアーほか

【級の設定】上級試験の設定は検討中

【認定実績回数】1回

【認定者数・合格率】289名

★検定に合格すると、合格証と認定カードを発行・配布予定。※合格者のハガキカードなどは今後検討していく。

函館歴史文化観光検定（はこだて検定）

●**検定の目的**
函館の街に関する学習を通じて街への愛着と誇りを再認識し、おもてなしの心を持って函館の魅力を紹介できる人材を育成。

▲公式テキスト 定価3000円（税別）

【検定期間】平成19年3月11日
【試験概要】 ●試験時間:90分
●出題数:100問以内
●合格点:100点満点として70点以上

【出題範囲】歴史・平野・建築・美術工芸・文化・産業・スポーツ・風習・観光・行事・観光・方角・自然・観光・出身者など、函館及び道南各地域に関する事項

【級の設定】初級 ※検定で上級試験を実施予定

【認定実績回数・合格率】1002名

★検定に合格すると、合格カードを発行するほか、合格者のうち希少な歴史・文化・観光・出身者に関する情報を活用し、地域の活性化に貢献する。

※原稿内のデータは、平成19年3月1日現在のものです。

